

提案番号

No.21

道路保全管理改革ソリューション

エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社

提案内容の詳細
はこちらから↓



提案の背景

道路は適宜適切な修繕による予防保全型管理が必要ですが、管理コストや労力などが大きな課題となっています。つくば市は道路総延長/実施延長において**県内1位3700Km**あり、市内パトロールに労力を費やしていますが、破損個所が多い地区では修繕が間に合わないという現状があります。

➡道路インフラの老朽化による**市民への安心安全の低下**、維持修繕費用拡大/道路破損による賠償費用、パトロールの負担

トライアル概要

■ 設置・テスト

本トライアルでは、AI搭載ドライブレコーダー（カメラ）をパトロール車両以外の公用車に取り付け道路破損の検知テスト、通知テストの実地運用を行います。

現状業務

パトロール車



道路管理課
担当職員



目視確認



■ 段階的テスト

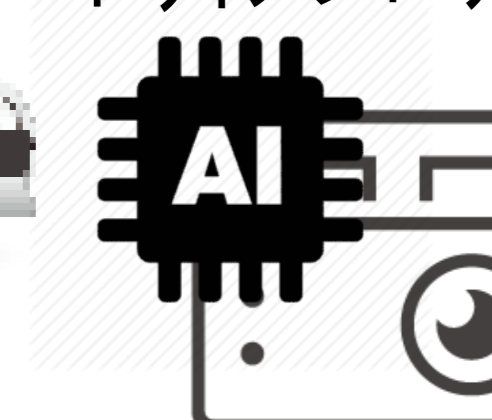
公用車1台に設置からテストを開始し、使用感や運用フローの確認後公用車複数台・つくバスへの設置を考えております。

トライアル

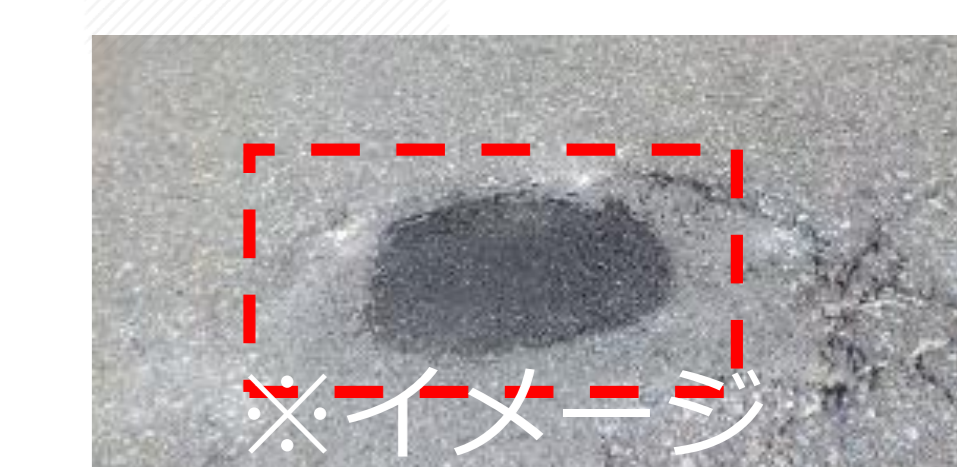
公用車



AI搭載
ドライブレコーダー



検知



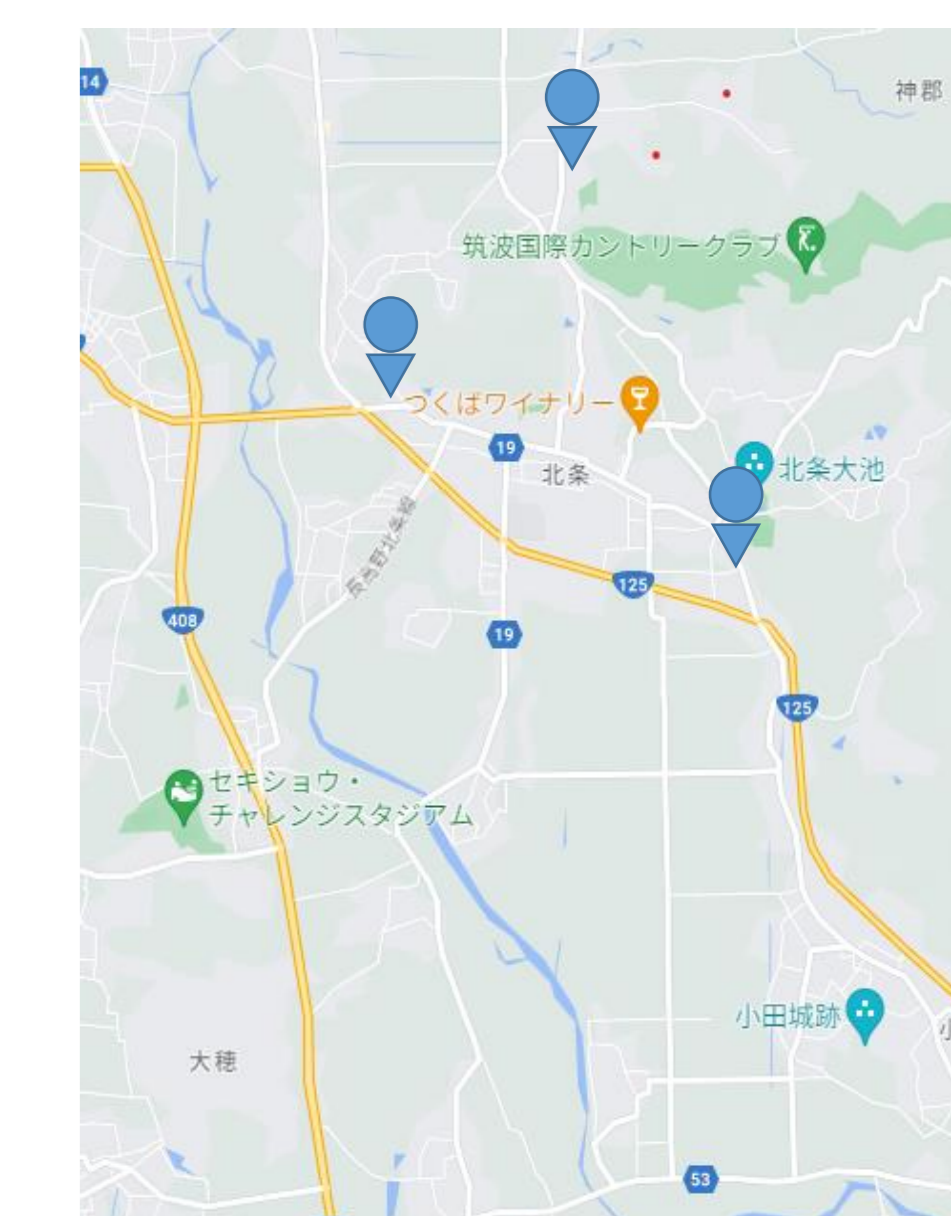
■ 改善

システムについては、随時意見交換・機能改善を行います。

期待される効果・実現する未来社会

■ AI搭載カメラで道路の破損発見と破損状況の見える化を行います。

路面修繕のspeed upにより、未修繕の危険個所も時間経過で放置されることが無く、市民にとって安全・安心な道路(歩道)環境の街になります。



■ 業務面では道路管理業務軽減と管理コスト・パトロール車両運用コストの削減が期待されます。